平成２８年度

２月保育のねらい

藤山台幼稚園

年長

・ひとつの目標に向かって自分の力を発揮し、充実感や達成感を味わう。

・冬から春への自然事象の変化に関心をもつ。

♪今月の歌♪　さよならマーチ、思い出のアルバム、さよならぼくらのようちえん
うれしいひなまつり、おひなさま

年中

・感じた事やイメージした事を膨らませて遊んだり、表現したりして遊ぶ。

・冬ならではの行事や自然に楽しみ、興味や関心を持つ。

♪今月の歌♪　春が来た、ふしぎなポケット、うれしいひなまつり
おひなさま、そつえんおめでとう

年少

・大好きなお話の動物や身近な動物になりきって、友達や保育者といろいろな表現を楽しむ。

・冬の自然に触れ、寒さに負けず元気に遊ぶようにする。

♪今月の歌♪　うれしいひなまつり、おひなさま、そつえんおめでとう

満３

・表現遊びを保育者や友達といっしょに楽しむ。

・冬の自然に触れ、体を動かして遊ぶことを楽しむ。

♪今月の歌♪　　つぼみ、春が来た、おひなさま、そつえんおめでとう

お　知　ら　せ

１　１月１１日（水）おもちつきをしました。

ＰＴＡさんはじめ、有志のお父さん、事務長さん、運転手さん、芋畑ともち米でお世話になっている大澤さんにもご協力いただき、無事におもちつきを終えることができました。

早朝よりかまどの火をおこし、蒸しあがったあつあつのもち米を目の前にした子ども達は、声の限り「そーれ！よいしょ！」と応援をして、おもちが出来上がるのを心待ちにしていました。年長さんは、子供用の杵を使い自分でつく体験も出来て、みんなに応援される中緊張した表情が印象的でした。お部屋に帰り、しょうゆ味・きなこ味のおもちをみんなでおいしくいただきました。たくさんの方のご協力、本当にありがとうございました。

２　生活発表会について

3 日間とも通常保育の日程の中で学年別に発表会を行います。スクールバスは通常運行致します。18 日（土）のみ、延長保育の申込み、給食の注文はできません。発表会の詳しい時間等のご案内は、２月８日（水）頃、配布の予定です。出演日当日、発表会終了後、お子さんと一緒に帰っていただいてもかまいません。前日までに担任にお知らせください。

いちご組さんは、発達年齢を考慮し、発表会は行いません。幼稚園での生活のペースを大切に、保育の中で、保育者や友達とお話の世界に親しむ取り組みをしていきます。ご家庭でも、就寝前の読み聞かせ等で、心豊かなお子さんの成長を共に支えていきましょう。

２月の行事予定表

日	曜日	行　事　予　定
３	金	**節分集会**
６	月	にこにこひろば（幼稚園施設開放）１０：００～１２：００
７	火	**サッカー体験(年少)　10：30～１組・11：00～２組**
		授業料･PTA会費･暖房費･通園協力費･DVD 代(年長のみ)引落日(大垣共立銀行)
１０	金	**２月誕生会**
		授業料･PTA会費･暖房費･通園協力費･DVD 代(年長のみ)引落日(三菱東京UFJ銀行)
１３	月	にこにこひろば（幼稚園施設開放）１０：００～１２：００
１４	火	藤山台小学校見学（年長）１０：４５～　※詳細は後日お知らせします
１６	木	**生活発表会（年少）　一日通常保育（満３・年中・年長）**
１７	金	**生活発表会（年中）　一日通常保育（満３・年少・年長）**
１８	土	**生活発表会（年長）　一日通常保育（満３・年少・年中）**
２０	月	**発表会代休日**
２１	火	**子ども生活発表会**
２２	水	**リトミック（年長）**
		新入園児用品渡し日　１０：００～１１：３０
２３	木	〃
２４	金	**３月誕生会**
２７	月	**年長ポートレート写真撮影　12：30～**
		にこにこひろば（幼稚園施設開放）１０：００～１２：００
２８	火	**サッカー体験（年中）10：30～１組・11：00～２組・11：30～３組**
		おたより帳集め

☆延長・預かり保育の出来ない日　　２月１８日（土）生活発表会(年長)

〇年長組小学校見学について

１４日(火)に藤山台小学校に見学に出かけます。小学校に対する興味・関心を深めるとともに、小学生のお兄さん、お姉さんの姿を見せていただき、就学への期待を高められるといいと思います。当日は、往復園バスで行きます。昼食は園に戻っていただきます。

藤山台幼稚園がんばりちょうの取り組み

あと３ヶ月ほどで卒園を迎え、小学生になる年長組さん。このがんばりちょうは、ひらがなに親しむための先生達の手作りノートで、学ぶことの意欲を高めることがねらいです。無理のないように一人一人の様子を把握しながら指導していきます。知らなかったことがわかる、出来なかったことが出来るようになる勉強の楽しさを感じ、小学生になることが楽しみになるような取り組みにしていきます。

毎週の絵本の貸し出しのお子さんの持ち帰る絵本は、お子さんが自分で読むためのものではありません。お父さんやお母さんとお話の世界が共有できることで育つ心の栄養だと思っていただけるとうれしいです。お話を読んでもらって楽しい経験が、自分でも読んでみようという意欲を生み、読むことが出来るようになってこそ書く力につながります。ひらがなを性急に書かせようとされることは、学ぶ意欲にはつながりません。段階を踏んで子ども達は育っていくことをご理解いただき、保護者の皆さんも読み聞かせをお楽しみください。